

令和5年3月15日

保護者のみなさま

橘小学校長 谷口 睦子

橘小学校 令和4年度 教育活動に関するアンケート集計結果について

春の訪れを感じる頃となりました。保護者のみなさまには益々ご健勝のことと存じます。本年度も余すところわずかとなり、今週は卒業式、来週には修了式を迎えます。1年間本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、「教育活動に関するアンケート」には、多くの方からご回答をいただき、ありがとうございました。集計しましたので結果をお知らせします。



1 昨年度集計結果と比較し、成果として

- 今年度も昨年度同様97%の児童が「学校が楽しい」と感じています。「お子さんは、家で学校の出来事をよく話す」は9%増の88%となりました。また、今年度新たに設定した「橘町が好きだ」に対しても98%の児童が好きと答えました。
- 「他の学年の子と一緒に活動するのは楽しい」と感じている子は3%増の98%でした。今年度は前年度以上にたなばた集会・スポーツ集会をはじめとした異学年での行事や交流が活発に行われたためと考えられます。
- 「毎日、朝ご飯をきちんと食べて、学校に来ている」「家庭では、朝ご飯を必ず食べさせている」が98%になりました。100%まであと一息です。栄養バランスや適切な量を考えた食育の面についても指導を充実させていきたいと考えています。
- 「家庭では早寝早起きをさせている」は昨年度に比べ1%増の81%にとどまっています。生活習慣の改善は、学校生活の安定を意味します。規則正しい生活リズムが守っていけるよう、今後ともご協力をお願いします。
- 「先生は毎日の授業をわかりやすく教えてくれる」「先生はがんばったことをほめてくれる」については二つとも「そう思う」「まあまあそう思う」合わせて100%という結果が出ました。担任教師と児童の関係は良好で、安心して授業にのぞめているように思います。引き続き、個別指導も含め「わかる授業」を展開し、児童の学力向上にむけて取り組んでいきたいと思ひます。
- 「毎日宿題を忘れずにできている」という問いについては4%増の98%という結果がでました。それにともない「今の学年で習った計算ができ、漢字もよく覚えている」が3%増の93%となっていますが、残りの7%の児童の支援について考えていく必要があります。引き続き学習指導に創意工夫を凝らし、基礎学力の定着を図っていききたいと考えています。
- 自尊感情や人権感覚を問う項目では「自分のこと(命・人権)を大切にしている」と答えた児童が昨年度に引き続き100%でした。学校や学級での人権教育はもちろん、日々の取組と家庭や地域の方々の支えが子どもたちの心に届いており、自分自身もかけがえのない存在であることを実感できている結果であると考えます。
- 「地震や津波の時の避難の仕方がわかり、行動できる」と回答した児童は今年も100%でした。今年度もトルコ・シリアでは大地震が発生しました。危機感をもって防災学習に取り組んでいく必要性を感じています。一方、保護者の方への問い「家庭では、地震・津波避難や防災について話し合いをしている」は5%減の77%に留まっています。学校でも引き続き、防災教育や安全対策を推進していきますので、子どもたちの生命の安全を守るために100%を目指して取組を進めていきたいと思います。

2 課題として

- 児童・保護者とも高い割合で「学校が楽しいと感じている」という回答でしたが、3%と少数であっても楽しくないと感じている児童がいることについては依然として課題があります。児童一人一人に寄り添った、個に応じた児童理解を教職員の共通認識としていきます。
- 「家庭では、携帯やゲーム、アプリ・SNS、パソコン動画やテレビの視聴を長時間しないようにルールを決め、お子さんはそれを守っている」と答えた保護者は、昨年から12%増加したものの67%と

保護者アンケート20項目中最も低い割合です。この問題は深刻です。コロナ禍の影響は大きいと思われませんが、現代社会が抱える問題であり、本校の児童も例外ではないと考えています。今年度は、1月の授業参観の後、親子人権学習として上田託也先生をお招きして「スマホやタブレット・パソコン、インターネットを使っても大丈夫？」という演題で講演をしていただきました。上田先生の講演が、今後の家庭での取り組みのヒントとなればと思います。

- 自分で歩いて登下校する児童が70%台にとどまっております。コロナウイルス感染症の影響はぬぐえませんが、体力低下に関しては数年来、全国的課題であり、特に徳島県の場合は顕著です。さらに現代っ子の体幹の弱さや持久力の低さもよく指摘されています。毎日歩くことや外で元気に走って遊ぶことは「体力づくり」の基本です。日常的な姿勢の矯正・体幹強化と合わせて、改善していく必要性を強く感じます。
- 児童「自主学習も自分からできている」は昨年度より7%増ではあったものの、65%と児童アンケート中、最も低い結果となりました。また、「タブレットを使った学習はよくわかる」と回答した児童は7%減の92%となりました。今後は、自主学習の進め方や自主学習ノートの書き方を例示していきたいと思ひます。またタブレットを用いた授業のあり方を見直し、授業改善に努めていきたいと思ひます。「家庭では、読書や自主勉強に取り組めるよう励ましている」が5%増加しています。引き続き保護者のみなさまのご協力よろしくお願ひいたします。
- 「家庭では、決まったお手伝いをさせ、働くことを大切にしている」が5%減と家庭でお手伝いをしてる児童が減っています。ご家庭でも家族の一員として働くことが、家族を支えることにつながると実感できるようご指導ください。

3 学校運営協議会での意見

※今年度は、6月・2月に学校運営協議会を開催し、アンケート結果、およびこれまでの授業参観やHPの閲覧等でご意見をいただきました。

- 教職員の働き方改革が全国的に取り上げられている中、橘小学校においても、厳しい現状下で職員が一丸となって子どもたちのことを第一にと、いろいろと取り組んでくださっていることに深く感謝する。職員のメンタルヘルスにも気をつけていただきたい。
- 学校外においても、あいさつをしてくれる子が増えてきた。よいことだと思う。引き続き、あいさつについて指導をお願いしたい。
- 毎日歩いて学校に来ている子が少ないという結果が出ている。子どもの体力低下が心配だ。また家庭でのお手伝いをする子も少ないようだ。保護者への啓発が必要だと思う。

以上の課題を教職員一同が真摯に受け止めるとともに、改善に向け、次年度の教育活動およびPTA活動に取り組んでまいりたいと考えます。そのためには、ご家庭のご理解とご協力が何より大切と考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

4 来年度に向けた取組方針

- 学校の教育活動の様子は、花たちばな通信や学年だより等でお知らせするとともに、学校HPでも新鮮な情報発信に努めています。保護者のみなさまの声を聞き、さらに工夫を重ねていきたいと考えます。行事予定については、毎月20日頃お手紙でお知らせする他、HPに最新情報を掲載しますのでご確認ください。
- 学力向上のために、今年は自主学習とタブレットを活用した授業に課題が残りました。今後も、低学年からしっかりと基礎学力をつけるために授業改善を推し進め、上の学年へと積み重ねていく必要があると考えています。基礎学力定着のため、ご家庭でもご協力をよろしくお願ひします。
- 防災・減災意識を高める取り組みについても、お子さまの安心安全の確保に向けて見直し、地域の方たちと共に新たな活動を積み重ねていきたいと思ひます。ご家庭でも防災については是非話し合ってみてください。
- 保護者や地域のみなさんの声を聞きながら、子どもたちがいきいきと活動する活力ある「橘小学校」となるよう、教職員一丸となって、より前向きに取り組んでまいります。

